

美点凝視

第 4 号

H 2 2 . 6

狭山台小学校
原 邦宏

お話朝会「おかげさま」

学校朝会の話の概要を紹介します。

皆さんの登下校のときに、交通安全指導員の方や地域の方が交通安全の旗をもって、皆さんの安全な登下校を見守ってくれています。

皆さんが安全に登下校出来るのは「そのような地域の方々のおかげさまだなあ」と思います。

皆さんは「おかげさま」という言葉を聞いたことがありますか？

「かげ」という言葉の意味の一つに「表面に現れないもの」という意味があります。

自分の知っている人だけではなく、表面に現れない、目に見えない様々な人や物のお世話になっっていることに「さま」をつけて「おかげさま」といいます。

例えば、「朝ご飯や給食を食べるこ

とが出来るのは誰のおかげ」でしょう。朝早く、みんなが寝ている間に朝ご飯を作ってくれたお母さんはもちろんですが、食事で食べるお米や野菜を作ってくれた人たちや学校の給食をおいしく食べてもらえるように、毎日一生懸命になって作ってくれた人たち、皆さんの目に見えない人たちにもお世話になっています。

目に見える人だけではなく、見えない「かげ」のちからによっても、自分は支えられていることに気付いたでしょうか？

「そうか、自分が生きているのは、世の中みんなのおかげなんだ！」そのことに気付くことができたなら、その感謝の気持ちをまずは、周りの人びとにお返ししてみよう。

「ありがとう」と笑顔で心を込めて言うのもいいかな。そうすることで、感謝の気持ちが周りの人に伝わり、みんなの心があたたかくなると思います。「安全に学校に来られたのは誰のおかげ」かな、「毎日、元気でいられるのは誰のおかげ」かな、考えてみましょう！「おかげさま」という感謝の気持ちを大切にしましょう。

「おかげさま」です！

先日、SSVCの園芸ボランティアの方が、花壇の除草をしてくださいました。暑い中、汗を流しての作業でした。

「早く除草しないと、草が伸びてしまうと心配だった。」との話を聞き、ありがたいと感じました。プールの周りは、地域の方が除草してくださいました。同じ思いだったのだと思います。学校は地域の方々に支えられているのだなと改めて感じました。

飛び出しに注意

また、五月二十九日（土）には、おやじの会の主催による「ドッチビー大会」が行われ、五月三十一日（月）からは、「放課後子どもクラブ」が始まりました。

子どもたちが楽しみ、大人から愛されていると感じる機会が多ければ多いほど、子どもたちは素直に、健全に成長できるのだと思います。

今後も地域の方々が様々な形で子どもたちと係わり、見守っていただければと思います。本当に「おかげさま」です。

学校応援団への参加もよろしく願っています。

今年も六月四日（金）にプール開きが行われ、プール指導が始まりました。

そのため、六年生によるプール清掃が行われました。隅々まできれいに清掃してもらいました。さすが、六年生です。狭山台小学校の顔として立派につとめを果たしてくれています。

プール学習が気持ちよくできるのは「六年生のおかげさま」です。

五月二十一日（金）、飛び出しによる車との接触事故が起こってしまいました。駐車していた自動車の陰から横断しようとしての事故でした。

幸い、大きなけがにはならずにすみましたが、交通事故は命に関わる事故になる可能性があります。

学校・家庭・地域で声をかけていきましょう。
